レース配艇の注意事項

1　配艇受付について

① 配艇受付は発艇時刻の　**90分前**　から始めます。

② リギング開始（配艇時間）は、発艇時刻の　**80分前**　からです。

※リギング開始の放送が配艇委員から入るまで艇に触れてはいけません。

（配艇開始前に不備等を発見した場合は、最寄りの配艇委員に申し出てください。）

※レースの状況により配艇が遅れる場合もありますので、配艇委員の指示に従うようお願いします。

2　配艇の流れ

① 配艇受付で　**配艇札**　と　**配艇カード**　を受け取ります。

② 配艇場の入場には、**ＡＤカードが必要**　です。首からかけて入場してください。

（今大会は、各校２名までのリギング補助員ＡＤが発行可能です。実施要項を御確認ください。）

③ リギング時にローイングスペース内に工具を置く際は艇を傷つけないようウエス等を敷いてください。

※リガーの形状を変更して行うピン角度調整（鉄パイプで曲げるなど）は、禁止します。

④ レース終了後､速やかにリギング解除してください(下記「**３リギング解除の必要ないレース**」を除く)。

⑤ **リギング解除の作業の際、持参したウエスを使用し、競技艇の濡れている箇所を拭き取ってください。**

⑥ リギング解除後に **配艇カード** を最寄りの配艇委員に渡して艇のチェックを受けてください。

⑦ 艇を損傷させた場合や、不調がある場合は、艇チェックの際に配艇委員に申告してください。

※無申告の場合、次に乗るクルーやレース運営に支障をきたしますのでご協力をお願いします。

⑧ チェックを受けた後、必ず速やかに　**配艇札**　と　**配艇カード**　を配艇受付に返却してください。

3　リギング解除の必要ないレース

２日目・全種目　（準決勝とＡ決勝・Ｂ決勝は、同じ艇を使用します。）

※リギング解除不要の場合（準決勝終了後）も、チェックを受け、必ず　**配艇札**　と　**配艇カード**　を配艇受付まで返却してください。（Ａ決勝・Ｂ決勝も、配艇受付をします。）

4　前日配艇について

前日配艇は行いません。

5　艇の取り扱いについて

① **桟橋が最も艇を傷つけやすい場所です。** 桟橋からの離岸と着岸の際は、係員、チーム補助員や監督がサポートし、艇を桟橋に接触させないよう注意してください。

② 1x（シングル）の運搬は必ず２名で行い、1x（シングル)、2x（ダブル）とも出来る限りローイングスペースに近い所を持つようにしてください。

③ 艇置台（ウマ）の角に艇体（ハル）などを当てないようにしてください。特にクォドルプルは差し上げた状態から振り下ろす際に当ててしまい、ハルが損傷するケースが多いです。ご注意願います。

④ ストレッチャー固定のチョウネジはプライヤーなどを使用せず手締めにしてください。プライヤー等の使用は締め過ぎによる破損につながります。バックステーと艇体との締め付けも同様に適切な圧力で締めるよう注意してください。

⑤ ストレッチャーを交換したクルーは、返却時にヒールロープを復元するようにお願いします。次のクルーが出艇する際のチェックに手間取ります。（リギング解除不要の場合を除きます。）

※クォドルプルのコックスはレース時の救命具の着用を願います。

６　お願い

・艇の管理には細心の注意を払っていますが、艇によっては、影響のない微細な傷がある場合がございますので、ご了承願います。

・**初めて配艇を経験する**　選手も多いと思われます。監督・指導者の方々からの御指導をお願いします。

・競技艇は、競技者共有のものです。丁寧な取り扱いをお願いします。

フェアプレー精神でレースに臨まれますよう大会運営にご協力お願いします。